

特定原子力施設監視・評価検討会（第102回）

参考4

過去のコメントへの対応状況

ハッチング・・・回答済、下線・・・追加・変更

ハッチング・・・2022年度上期に回答を求めるもの

ハッチング・・・2022年度下期に回答を求めるもの

ハッチング・・・東京電力が2022年度下期までの回答が困難としているもの

1. 液状の放射性物質に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
建屋滞留水の処理	建屋内スラッジへの対応について、検討すること。 (第78回)	第86回会合にて回答(継続)
	3号機サプレッションチェンバの水位低下について、ステップ1からステップ2に移行していくまでの具体的な計画について説明すること(第84回)	別途面談にて回答(継続)
	1号機サプレッションチェンバの水位低下時期について具体的な計画を示すこと。(第89回)	第90回にて回答(継続)
1/2号排気筒ドレンサンプルピット内の汚染水	排気筒ドレンサンプルピット内部への汚染の供給源を今後特定し説明すること。(第81, 82回)	第82, 91, 93回会合にて回答(継続)
タンク内未処理水の処理	タンク内未処理水(Dエリア、H2エリア)について、早期に分析して処理方法を検討するとともに、今後の処理工程を示すこと。(第96, 98回)	第97回にて回答(継続)
1/3号機格納容器水位低下に向けた取り組み	1号機PCVについて、ROVによる調査中などを除き水位をなるべく低下させるとともに、損傷箇所の特等のためのROVによる調査を検討すること。また、損傷の程度、漏えい量等について注水量などを踏まえた定量的な評価を検討すること。(第99回)	未回答
	3号機PCVの水位低下事象について、注水停止試験等も踏まえ、早期に水位を低下させること。その際、より低位置への水位計の設置要否についても検討すること。(第100回)	未回答

2. 使用済燃料に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
1号機SFPからの燃料取り出し	大型カバーの設置について、荷重評価や遮蔽等の設計の概念について説明すること(第78回)	第91回にて回答、別途面談にて対応(継続)

3. 固形状の放射性物質に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
廃棄物の保管管理	長期的な視点で今後必要とされる分析内容を明らかにして、人員や施設的能力を含め全体的な分析計画を考えて示すこと。(第 98 回)	未回答
	合理的な試料採取の検討材料として、東京電力としてまだ測定・計測できていない汚染物などについて示すこと。(第 98 回)	未回答
	燃料デブリ、水処理二次廃棄物などインベントリが高い廃棄物の保管管理計画についても今後示すこと。(第 83、99 回)	未回答
	屋外保管しているものの管理適正化に向けた工程表について、2028 年度屋外保管の解消という目標があるので屋内保管まで含めた具体的な工程を示すこと。(第 97 回)	未回答
増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況	溶接部の亀裂等のトラブルによる運転停止期間及び運転停止に伴う廃棄物管理の全体計画に与える影響などを示すこと。(第 101 回)	未回答
燃料デブリ取り出し	デブリ取出し、構内輸送、保管までの計画の全体像を示すこと。(第 85 回)	未回答
ALPS スラリーの安定化処理	スラリー安定化設備に係る閉じ込め等の安全設計について、根拠を示した上で考え方を説明するとともに、提出された実施計画変更認可申請において不足している内容については、速やかに補正を提出すること。(第 88 回)	第 91、92 回会合にて回答、2021 年 4 月に補正申請を受理(継続)
HIC 内スラリーの移替え	HIC の照射線量や寿命について、2018 年以降のスラリーの状態変化、HIC 移替え後の残存スラリーの線量値から求められる線源強度や今後 HIC 移替え後の内面観察等を考慮して評価を行うこと。(第 88、96 回)	第 89、91、100 回会合にて回答(継続)
	移替え後のスラリー残渣について、抜き取り方法を含めその取扱いを検討すること。(第 94、96、100 回)	未回答
分析施設第 1 棟	本件の遅れによって廃炉作業全体に遅れが生じないように、早期の供用開始に向け、換気空調系全体としての負圧維持が達成できるかの総合的な試験を速やかに実施すること。(第 94 回)	未回答

分類	コメント内容	事業者の回答
ゼオライト土嚢等の処理	ゼオライト取り出し時の遮へい設計、閉じ込め設計などの安全設計について示すとともに、設計諸元の設定など設計から製作などのプロセスにおいて重要な事項を決めるタイミングを整理して全体スケジュールとして示すこと。(第 98, 99 回)	第 99 回にて回答(継続)
	回収機器の信頼性向上、不調時の代替機確保、実証実験により明らかとなる課題の解決などの実現方を具体化すること。(第 98 回)	第 99 回にて回答(継続)
	核燃料施設等の閉じ込め機能に係る基準要求のうち出来ないもの及びその理由を示すとともに、設備設計に際しては、どのような不具合が発生しうるのか、不具合が発生した場合にどう対応するのかについても網羅的に評価すること。(第 99 回)	未回答
	脱水等の運用方法や実現性、保管年数、再取り出し等を十分に考慮した上で、保管容器の具体的な設計を検討すること。(第 99 回)	未回答
固形状の放射性物質の区分等	現行の固体廃棄物の保管管理計画に入っていないものについて、全体像を明らかにするとともに、今後、その保管・管理方法の検討を進めること。(第 99 回、第 100 回)	第 100 回会合にて回答(継続)
1 号機原子炉格納容器内部調査の状況	現状の格納容器内部の水素リスクや設備の酸化防止効果等を検証した上で、格納容器の負圧管理への移行の可能性について検討すること。(第 100 回)	未回答
	今後の ROV 調査におけるペDESTAL の支持機能に対する追加調査の可能性について検討すること。(第 100 回)	未回答
	R P V 傾斜等による PCV ペネトレーションなどの弱部への影響程度を評価すること。(第 100 回)	未回答

4. 外部事象等への対応に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
地下水流入対策	建屋の水位を低下させたときに地下水の建屋流入量の変化を確認し、貫通部の位置など流入量抑制のためのデータを蓄積すること。(第 70 回、第 79 回)	第 74, 84, 92 回会合にて回答(継続)
	凍土壁に代わる構造壁の設置や導入等、遮水壁の取扱を含め建屋の根本的な止水対策について、いつ、どのように作成するのか全体の工程を示すこと。	未回答

分類	コメント内容	事業者の回答
	(第 78, 90,99 回)	
	建屋貫通部・建屋間ギャップなどの止水措置について、スケジュールを含め全体の計画を示すこと。また、2号機タービン建屋や廃棄物処理建屋などの止水措置も並行して検討を進めること。(第 99 回)	未回答
	3号機の排気筒下のレッドゾーン周辺の雨水対策(3号機屋根の雨水排水対策)として、瓦礫の撤去・フェーシングの実施等について早期に検討を進めること。(第 99 回)	未回答
	遮水壁のブライン配管等の設備について補強等も含めて設計として改良点がないか検討すること。(第 99 回)	未回答
建屋の耐震性	3.11 前の健全な建屋での振動特性と 3.11 後に設置した地震計から得られる建屋の振動特性の比較や、同地震計から得られる地震波形を踏まえた現実的な構造特性の設定など、地震計から得られるデータの有効活用について検討すること。(第 97 回)	未回答
耐震クラス分類	<u>耐震クラス分類のための線量評価に関して、早期に分類を確定させ議論を前に進めるために、インベントリ評価などについては保守的な評価も含めて合理的な評価のあり方を検討すること。(第 101 回)</u>	未回答

5. 廃炉を進める上で重要なものに対する対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
高線量 S G T S 配管撤去	配管内側で採取したスミヤ試料の核種分析を早期に行うこと。(第 100 回)	未回答
	<u>切断装置の信頼度向上対策の具体的な検討内容を示すこと。(第 101 回)</u>	未回答

6. その他

分類	コメント内容	事業者の回答
LCO 要件の見直し	2020 年 11 月 12 日に停止した PCV ガス管理システムについて、停止することにより臨界監視機能、安全機能などが失われることの安全上の位置づけについて、窒素封入など関連する機能とともに LCO 要件の見直しの中で検討すること。(第 85 回)	本件は規制委員会で方針を検討後扱う。

分類	コメント内容	事業者の回答
設備の重要度分類	1 Fとしてのリスクに応じた重要度分類を再整理する必要がある。設備の設計・検査を考える上で、全体の重要度を定めて方針を示すこと。(第101回)	上記検討に併せて回答予定
令和4年3月16日の福島県沖地震に係る対応	設備の健全性及び建屋の劣化状況等を評価するとともに、解放基盤表面での地震動や地盤応答の増幅特性などを分析・評価し、現在設計で用いている地震動・地盤モデル等の妥当性を検証すること。また、施設・設備の健全性評価に当たっては、全体工程を示した上で、昨年2月の地震との特性の違い（卓越する周期や方向などの違い）やはざとり波の評価結果を考慮して実施すること。(第99、100回)	第100回、 第101回 にて回答（継続）
	新設設備の評価について、波及的影響評価(Ss900)と機能維持評価の内容は異なることから、今後の審査において、個別にその内容を比較した上で除外できることを説明すること。また、「新設B+クラスの対応方針」における「評価」内容が「1/2Ss450 機能維持」と異なる場合は、その差異を明確にすること。(第101回)	未回答
	地震により毎回発生するタンク内水位計の機能喪失について、設計上の対策を実施すること。(第99、100回)	第100回にて回答（継続）
	コンテナの転倒防止の評価内容を示すこと。(第100回)	第101回にて回答
	3号機について、建屋解析モデルに3.16地震の波を入力して、建屋の応答解析結果と実際の建屋応答との比較・分析を行うこと。(第99回)	未回答
	4号機原子炉建屋カバーの主要部材の健全性について確認結果を示すこと。(第99回)	第101回にて回答
	はざとり波が一部周期帯で1/2Ssを超えていることから、既設設備については優先順位を考慮した上で、その健全性を 早期に 確認すること。また、現在審査中のB+設備については、本影響の評価を行うなど、耐震設計において考慮すること。(第100、 101 回)	第101回にて回答（継続）
	剛構造の設備に対して3.16地震の影響がないとしているが、はざとり波の50Hz周辺においても1/2Ssを超過しているため、その根拠を示すこと。	未回答

分類	コメント内容	事業者の回答
	<u>(第 101 回)</u>	
3号機 RHR 配管内の水素ガス滞留に係る対応	他系統や他号機を含めて、水素ガスが滞留する可能性について調査・検討し、必要な対策を講じること。 (第 97 回)	第 98 回にて回答 (継続)
<u>リスクマップの進捗管理</u>	<u>第 101 回の議題 4 で東京電力が説明した内容 (現状の取組状況や今後の工程等) について、参考資料 1 の「リスクマップを踏まえた検討指示事項に対する工程表」に反映すること。(第 101 回)</u>	未回答